

中央公民館講座



日程等▼下表参照

対象▼村内在住・在勤・在学中で中学生以上の方

※中学生が参加する際、保護者の同伴は不要です。

受講料▼無料 ※一部費用がかかります(下表参照)。

その他▼▽応募者多数の場合は抽選で決定します。▽受講の可否は、応募者全員に郵送でお知らせします。

申し込み・問い合わせ▼6月30日(月)(必着)まで

(月曜日を除く)の午前9時～午後9時(日曜日は午後5時まで)に、電話、郵送(はがき・封書)(▽講座名▽住所▽氏名(ふりがな)▽年齢▽電話番号▽勤務先・学校名(村外在住者のみ)——を記入)、いばらき電子申請・届出サービス(右の二次元コードからアクセス可)またはお越しの上、中央公民館(〒319-1115 船場768-15 ☎282-3329)へ申し込みください。



▲申込はこちら

講座名等	日程等
はじめてのカンタ刺繍(全2回) インドのベンガル地方で生まれた「カンタ」は、着古した衣類を重ね、刺し子の技法で再生させた暮らしの民芸です。講座では、17センチメートル四方の布で作品を作りながら基本的な技法を学びます。手芸が初めての方でも参加できますので、この機会に手仕事の楽しさを味わってみませんか。	期日▼7月11日・25日(全て金曜日) 時間▼午後1時～4時 定員▼10人 費用▼500円程度/人(材料費、初回徴収) その他▼▽糸切りばさみ・眼鏡(お持ちの方のみ)をご持参ください。▽保育サービス(無料、2歳～小学6年生が対象)があります。



村では平成26年度から、「地域社会と原子力」をテーマに、社会科学の視点でこれからのまちづくりを考える契機となるよう、若手研究者への支援事業を続けてきました。事業開始から10年目を迎えるにあたり、これまで支援した研究者からの報告や東海村へのメッセージをお伝えしてきたリレーエッセーは、今回で最終回となります。

【地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業】リレーエッセー

若手研究者からのメッセージ

結びと今後への期待

一般社団法人複合リスク学際研究・協働ネットワーク
代表理事 谷口 武俊

地域外の者が関係人口となる機会やきっかけの提供に取り組む事業が、さまざまな地方自治体で行われています。これまで東海村と縁のなかった人文社会科学系の若手研究者や教員に、これからの研究人生の中で東海村となんらかつながら、原子力に関心を持ち続けてほしいとの思いでこの事業を構想しました。本事業は財政的な制約はありますが、地方自治体が研究を支援するという国内はもとより世界的にも画期的な事業です。



原子力に係る諸問題は技術だけで解決はできない

い、政治的・社会的な価値判断を中心課題とした社会問題です。それには社会学、地域政治・経済学、行政法学、社会心理学、公共哲学、倫理学、歴史学など多様な学術的観点からの調査分析が必要で、それらの情報や考察を、市民を含む行政・事業者などの意思決定者に提供していく努力が必要です。それを担うのは若手の人文社会科学系の研究者たちです。それを支援することも大きな目的です。

本支援事業では、村民への研究成果の公開と自由な議論の場の実現を目指しましたが、十分に行われたとは言えません。しかし東海村では原子力の自分ごと化会議、住民原子力懇談会などが行われてきており、これからも継続的な対話や熟議が続いていくと思います。この支援事業から生まれた研究成果には多くの課題やアイデアが提起されています。ぜひ自分ごととして考えるきっかけにしていきたいと思います。

最後に、本支援事業の選考委員を務めていただいた委員の方々、村長・副村長をはじめとする東海村役場の皆さま、村議会議員の皆さまに、謝意を表します。

【問い合わせ】産業政策課産業政策推進担当(☎282-1711 内線1269)